5000円で買えるCortex-A8ボード

定番BeagleBone Black活用術

ネット配信機能付き！

オープン・ソース画像認識アプリMotionでサッ！

動き検知カメラ

桑野 雅彦

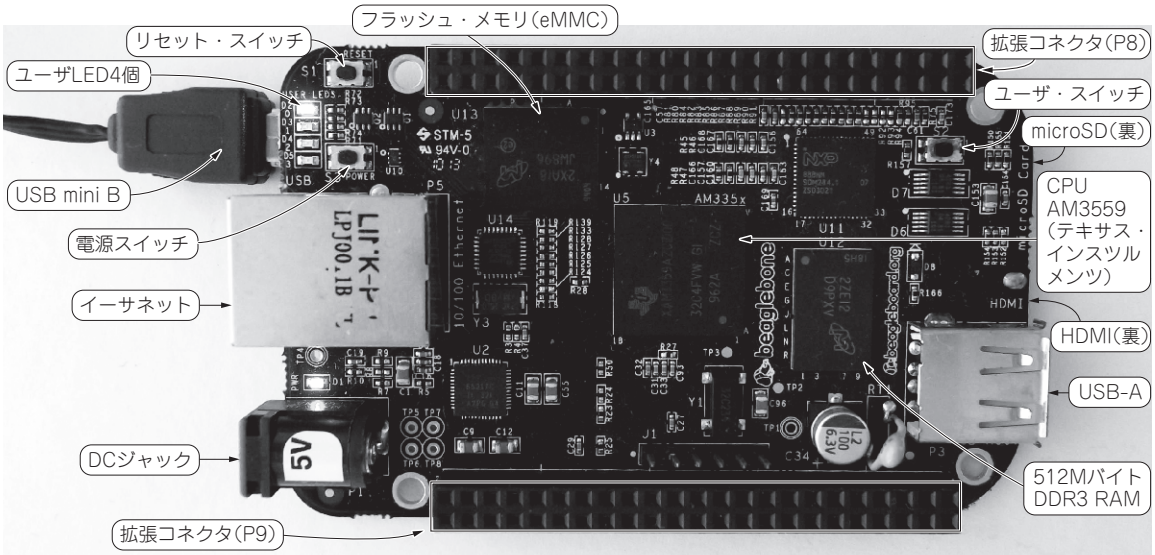

写真1　簡易画像配信に使うターゲット！5000円で買える高性能ARM Cortex-A8ボードBeagleBone Black

今回は，**写真1**の高性能ARM Cortex-A8ボードBeagleBone BlackにUSBカメラを接続し，オープン・ソースの画像認識アプリ「Motion」で動かします．

実験1　動き認識…画面内に動きがあると自動で撮影してjpgファイルとして保存

実験2　ウェブ配信…ウェブ・サーバ・アプリNode.jsと組み合わせてブラウザで見られる画面情報として配信

使用するLinuxディストリビューションはパソコンで定番のUbuntuです．

● 実験手順

実験の手順は以下の通りです．

- 手順1…準備1　Ubuntuを用意する
- 手順2…準備2　Ubuntuを使いやすくする
- 手順3…画像認識アプリMotionをインストール
- 手順4…Motionを使って定点監視カメラを作る
- 手順5…定点監視カメラとウェブ・サーバを組み合わせてリモート操作できるようにする

手順1～2は2014年4月号の本コーナで紹介しました．今回は手順3～5を行います．（編集部）

こんな実験

● ハードウェア

製作した動き検知カメラの構成を**図1**と**写真2**に示します．

カメラはLinuxボードでよく利用されていて，安価なUSBカメラとして定評のあるC270（ロジクール）を使用しました．よく売れている機種なので家電量販店などでも簡単に手に入るでしょう．筆者は2000円程度で購入しました．

ドライバのインストールなどは不要で，USBに接続するだけで認識されて利用可能になります．BeagleBone Blackで取り込んだ画像が**写真3**です．カメラとしての性能はそれほど高性能というものではありませんが，値段を考えればなかなかきれいに映っていると言えるのではないでしょうか．